



関西島根美郷会の皆さんへ

関西島根美郷会会長

木村 健茂

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

関西島根美郷会は、本年度十五年を迎えます、会員の皆様が「ふるさと美郷町」に思いを馳せ活力溢れる美郷町を！と応援し続ける中、町も目覚ましく発展し成果を上げてきています。

しかし残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大により、一昨年、昨年と2年連続して総会及び懇親会、夏の子供大阪体験ツアー、産業祭・みさとふるさとまつりへの参加行事も、開催出来ない状況となってしまいました。

いま、コロナ感染の第6波が全国的に波及すると、政府・都道府県が懸命に対策、拡大防止に努力されております、ここで全国民が一体とならなければならぬ状況であります。

3回目の、コロナワクチンの接種も3・4月頃には本格的に接種できそうです、対応しつかりと。

関西島根美郷会は、会員・役員皆様のご理解とご協力で、無事運営できています。

故郷美郷町に今は帰れない、家・両親・兄弟にも会えず、じつと我慢して健康と安全を願い、病原の終息を待っておりますが、今年は、総会・懇親会を、一・二月に状況判断して五・六月ごろに会員様のみ「身内だけ」で開催しようと考えています。もちろん、町や近隣出身者会の皆さんもお呼びしません、ご案内をお待ち下さい。

ふるさと美郷町も、麻布大学を誘致し、ドローン運営、山くじらの取組、バリ島マス村との交流と、町当局と議会が一体となり町民に寄り添った強い気持ちで活動しておられます。町が目指した「活気あふれる明るい町」「町外と活発な交流のある町」も徐々に結果が芽を出し始めているようです。昨年は、コロナウイルスの感染拡大で活動ができませんでしたが、今年は状況にもよりますが、夏の子供大阪体験ツアーの招待、十一月の産業祭「みさとふるさとまつり」にバスを貸し切つて二日間参加予定です。

元気でいれば、いつでもお会い出来ます、3密を避け、身を守り、元気で安全な生活を頑張ります。最後になりましたが、会員の皆様との交流の輪を広げ、未来に希望と魅力のある会にしたいと思えます。